



令和9年度 INPIT 知財力開発校支援事業

公募の概要資料

この資料は、本事業と公募の概要をまとめた資料です。
詳細は、必ず「公募要領」をご確認ください。

■ 応募受付期間

令和8年
10月1日（木）



令和8年

11月16日（月）

（メール必着）

■ 応募条件（抜粋）

- ① 高校（専攻科を含む）、中等教育学校（後期課程）又は高専（専攻科を除く）であること
- ② 1学校当たり1件の申請であること
- ③ 本事業に参加実績がある場合、学校単位で通算4年目までの応募であること

お問い合わせ先

INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館）

知財人材部 人材育成環境整備担当



アイ ビー ハイフン
ジェイ ゼット ぜろはち

ip-jz08@inpit.go.jp

☎ **03-3581-1101（内線3912）**

お問い合わせは原則として電子メールでお送りください。

電話は、大代表として特許庁に繋がりますが、内線で担当部署に繋がります。

CONTENTS

本資料に掲載されている内容

- ・ 知財力開発校支援事業について（概要）
- ・ 参加校が受けられる支援内容
- ・ 参加校に実施いただくこと
- ・ 参考となる取組事例について
- ・ 応募について

このほかに ダウンロードいただく資料

弊館webサイトの「[知財力開発校支援事業](#)」ページから
「[参加校公募情報](#)」へアクセスして、ご確認ください。

- ・ 公募要領
- ・ 申請書
- ・ 申請書 記入の手引き
- ・ （参考）本事業の計画書・報告書等の様式
活動経費処理マニュアル



知財力開発校支援事業について

本事業は、各校での知財学習の取組を
活動経費とノウハウの両面で支援するものです。

取組内容は、各校で企画・実施いただきます。

各校の特色やニーズにあわせて、
知財学習に関連する範囲内で自由に企画いただきます。

各校ごとの取組に対して、本事業では活動経費等での支援を行います。
本事業として、特定の授業プログラム等を提供・実施いただくものではありません。

知財学習って？

- 具体的な取組事例は、
本資料p.7もご確認ください。

知的財産（知財）の保護・活用について、考え・気付くきっかけとなる取組が知財学習です。
必ずしも、法律や制度の専門的な部分に触れる必要はありません。
既存の授業や課外活動等を通じてアイデア創造の尊さを実感したり、知財が実生活の中で
いかに活用されているか等を考えたりする取組も、知財学習といえるでしょう。

本事業では、知財学習を下記のように定義しています。

身の回りのアイデアが社会では知的財産権として保護されていることや、ビジネスの中で権
利として活用されていることの実態に触れながら、知的財産の保護や権利の活用についての
知識や情意・態度を育む取組のこと

Question

知財力開発校支援事業について

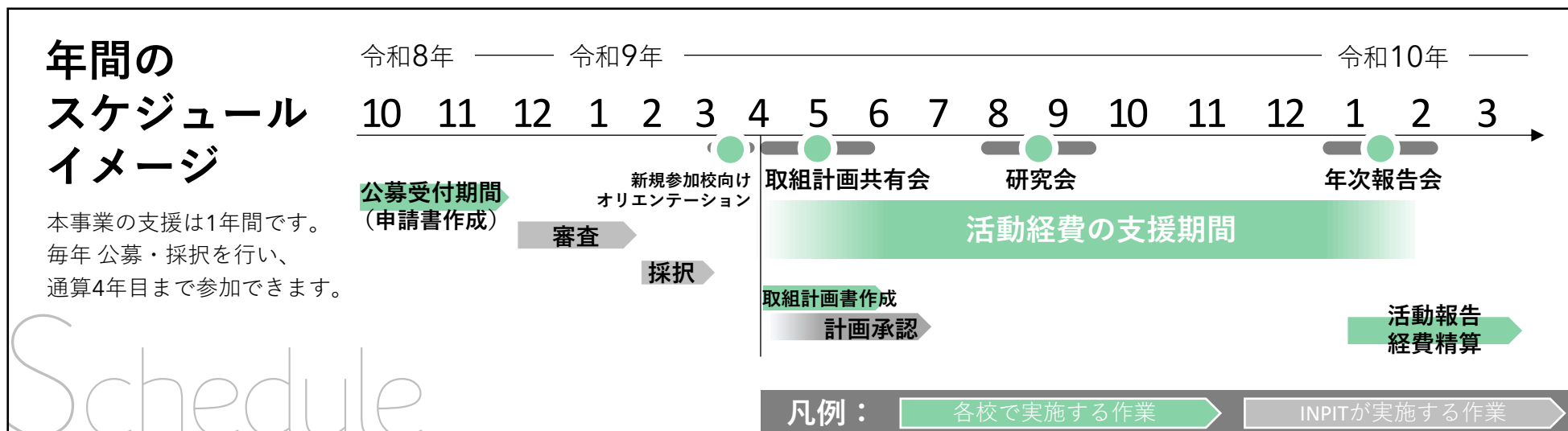
本事業は、各校での知財学習の取組を
活動経費とノウハウの両面で支援するものです。

年間50万円以内の活動経費を支援します。

知財学習の実践（学校で実施する取組）に必要な活動経費を、所定の費目・規定等の範囲内で年間最大50万円まで支援します。支出内容および精算にはルールがありますので、各資料をご確認ください。

各校の取組をサポートします。

アドバイザーによる助言や、取組事例紹介等によるナレッジ面でのサポートを得られるほか、取組計画共有会・研究会・年次報告会等のイベント参加を通じて、参加校間での情報交換を行いながら進めることができます。



参加校が受けられる支援内容

本事業では、知財学習に取り組まれる参加校に対して、下記の支援を行います。
この資料には概要を記載しますので、詳細は公募要領をご確認ください。

■ 活動経費の支援（年間最大50万円）

知財学習の実践（学校で実施する取組）に必要な活動経費を支援します。支援できる経費は規程により所定の費目が定められています。

例えば、知財学習に係る...

- ・ 教室配架用の**書籍購入費**
- ・ 校内セミナー開催のための**講師の旅費・謝金**
- ・ 企業訪問や研修のための**旅費**
- ・ 創作を行うための**材料費**や運搬費
- ・ アドバイザーから**助言を受けるための旅費・謝金**
- ・ 出願書類作成を行うための**弁理士への相談料・旅費**
- ・ **活動報告**を行うための印刷複写費

その年度の知財学習の取組に必要な経費を支援するものにつき、たとえば**下記のものとは対象になりません。**

[詳細は、公募要領の「7.支援対象の活動経費」をご確認ください。]

- × 学校の備品や、知財学習の実施に関係なく学校で必要になるもの
- × 販売目的品の材料費や旅費、実際の出願費用・出願書類作成費
- × 耐久消費財（耐用年数1年以上かつ取得価格が2万円以上の物品）

■ 教員同士の交流・研鑽の場

知財学習の取組を支援するため、教員間の交流を図るイベントを年3回程度実施しています。会合では、専門家や有名企業による特別講演・ベテラン教員による模擬授業のほか、取組状況等の報告と情報交換を行うグループワーク等を行っています。

■ アドバイザーによる助言等

初めての先生方にも充実した活動をしていただけるよう、アドバイザー（知財学習に長年の実績がある先生）を配しており、会合でのグループワークのほか、学校への出張訪問等でも助言を受けることができます。

■ 専門講師（弁理士）の紹介等

日本弁理士会と連携して、特別授業等で講師を担当できる弁理士をご紹介します（授業の実施内容や謝金等については直接打ち合わせいただくこととなります）。

(採択後に)

参加校に実施いただくこと

本事業では、各校での知財学習の成果を収集・共有して広く普及を図ることを目的のひとつとしています。

また、活動経費については適切な経理処理を行っていただく必要があります。

については、参加校の先生方には知財学習の取組実施のほか、下記を実施いただくこととしています。

■ 計画書・報告書の作成

取組計画を確認・承認したり、参加校間で取組を共有するための書類について、期間中にいくつかの作成・提出をお願いしています。

(提出時期)	(書類名)
4月～5月頃	取組計画書・支出計画書
1月～2月頃	実践事例報告書・年間指導報告書
各イベント前	発表スライド

■ イベントへの出席

取組の共有・教員間の交流を図るため、年3回のイベントへのご出席をお願いします。イベントは東京での対面開催を予定しています。

(開催時期)	(イベント名)	(出席者)
春：4月～5月頃	取組計画共有会	学校長1名* + 担当教員1名
夏：7月～8月頃	研究会	担当教員1名
冬：1月～2月頃	年次報告会	担当教員1名

上記の出席者の旅費は事務局より支出しますので、各校で負担いただく必要はありません。
また、学校経費もしくは支援経費を利用して、出席者を追加することも差し支えありません。

*) 新規参加校もしくは新任の学校長の先生には、ご出席をお願いしています

■ 経費管理・精算書類の作成

期間中は各校で活動経費を管理いただき、支出の証票や会計帳簿の管理をお願いします。これらは1月～2月初頃に提出いただき、経費の確認を受け、最終的な金額の確定と精算を行うことになります。



**担当教員おひとりで
全てを行う必要はありません。**

本事業では、支援の終了後も知財学習の取組が定着し、継続して実施いただけるような体制が各校で根付くことを目指しています。については、知財学習の取組・本事業に係る諸活動等は担当教員の先生おひとりで全てをこなすのではなく、ぜひ組織的な取組として実施いただければ幸いです。

このことから、申請書類には体制図の記載をお願いするとともに、取組計画共有会には新規参加校の学校長もご出席いただくようお願いします。

公募へのご応募について

申請書を作成してください。

応募は、Excelの申請書を提出いただきます。
11月16日（月）までに、メールでお送りください。



申請書様式のダウンロードは弊館webで

<https://www.inpit.go.jp/jinzai/educate/chizairyoku/kobo.html>

公募要領等の説明をよくご確認ください、作成ください

採択後には、採択の事実をINPITのホームページや広報用資料等で公表する予定です。



申請書の内容が、実際の取組内容のベースになります。

申請書には、知財学習のねらい・目標・予定取組概要などを記載いただきます。
この内容を基に採択されますので、以降の大きな方針変更を極力抑えられるよう、
自校の状況・課題等を踏まえて、申請書の記載内容をご検討ください。

申請書の 提出方法

送信先

アイ ビー ハイフン
ジェイ ゼット ぜろはち

ip-jz08@inpit.go.jp

ファイルサイズが7MBを超える場合には、ファイルを分割して
件名に「当該メールの順番／総通数」を追記して送信ください。

独立行政法人 工業所有権情報・研修館 知財人材部 人材育成環境整備担当 あて

メール件名

「開発校応募（提出学校名）」

応募締切

令和8年11月16日（月）【必着】

申請書を作成し、メールに添付して期日までに送信してください。
添付する申請書のファイル名は、「（提出学校名）.xlsx」に設定してください。
なお、提出にあたっては必ず学校長の許可を得た上でご応募ください。

INPITでは応募メールの受信後3営業日以内に、応募アドレスへ返信を行います。
返信が届かない場合には申請書不着の可能性がありますので、電話でお問い合わせください。

(参 考)

令和8年度 採択校の校種・地区

普通 17校

商業 12校

情報 1校

農業 8校

水産 1校

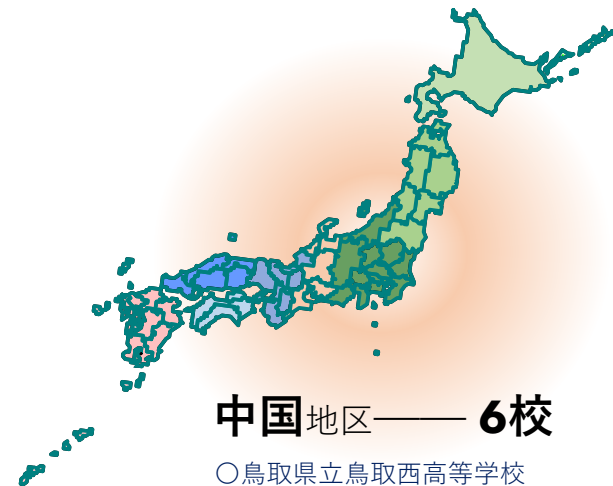
福祉 2校

工業 19校

家庭 1校

高専 2校

計：63校



北海道地区—— 3校

札幌日本大学高等学校
東海大学付属札幌高等学校
北海道更別農業高等学校

東北地区—— 10校

宮城県松島高等学校
秋田県立大曲農業高等学校
宮城県工業高等学校
○秋田県立秋田工業高等学校
秋田県立湯沢翔北高等学校
○秋田県立横手清陵学院高等学校
山形県立鶴岡工業高等学校
宮城県南三陸高等学校
山形県立鶴岡中央高等学校
一関工業高等専門学校

関東地区—— 13校

東海大学付属市原望洋高等学校
玉川学園高等部
サレジオ国際学園高等学校
○神奈川県立生田東高等学校
立花学園高等学校
静岡県立藤枝北高等学校
群馬県立前橋工業高等学校
○東京都立橘高等学校
○千葉県立銚子商業高等学校
東京都立第五商業高等学校
神奈川県立小田原東高等学校
○静岡県立浜松商業高等学校
千葉県立柏の葉高等学校

中部地区—— 5校

三重県立津西高等学校
岐阜県立岐阜農林高等学校
○三重県立桑名工業高等学校
三重県立津工業高等学校
○三重県立明野高等学校

近畿地区—— 16校

福井県立高志高等学校
○大阪府立桜和高等学校
常翔学園高等学校
大阪府立工芸高等学校
○大阪府立城東工科高等学校
大阪府立東淀工業高等学校
○福井県立福井商業高等学校
○滋賀県立大津商業高等学校
大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校
○大阪府立住吉商業高等学校
大阪府立淀商業高等学校
○大阪府立東住吉総合高等学校
兵庫県立長田商業高等学校
兵庫県立香住高等学校
和歌山県立熊野高等学校
○大阪公立大学工業高等専門学校

中国地区—— 6校

○鳥取県立鳥取西高等学校
岡山県立岡山芳泉高等学校
野田学園中学・高等学校
○山口県立山口農業高等学校
○山口県立田布施農工高等学校（新）
山口県立徳山商工高等学校

四国地区—— 2校

○徳島県立池田高等学校辻校
香川県立多度津高等学校

九州地区—— 7校

長崎総合科学大学附属高等学校
熊本県立天草拓心高等学校（本渡校舎）
○大分県立久住高原農業高等学校
開新高等学校
熊本県立熊本工業高等学校
大分県立鶴崎工業高等学校
鹿児島県立鹿児島工業高等学校

沖縄地区—— 1校

○沖縄県立宮古総合実業高等学校

(○印は、令和8年度新規参加校)

(参 考) 取組の参考例について

本事業では、取組内容をそれぞれ各校で企画・実施いただきます。取組内容を企画される際の参考に、これらの情報をご利用ください。

参加校の取組内容例 が分かる資料



知財学習に取り組む先生方の
ストーリーが分かる！
知財学習 取組事例集

各校での知財学習導入の理由、取組の
リアルな状況などをご覧ください。



過去全参加校の
取組内容の概要が分かる！
実践事例報告書

参加校から年度末に提出いただく報告
書を、年度・校種ごとに全校分掲載し
ています。また、取組内容の統計デー
タ等も収録しています。



Web上でご確認ください（掲載ページへ）

取組の実施風景 が分かる動画



取組例をイメージしやすい
**動画を
公開しています**

YouTube



◀ 企業による
講演授業



キャラクターの
商標活用・ブランド化▶

授業プラン・教材 が分かる資料

探究学習で活用できる
**知財学習
導入資料集**

授業の構成例や教材情報など
をまとめた資料です。



Web上でご確認ください（PDF直接リンク）

※各校の取組事例には、支援事業の活動経費を用いた取組以外の取組も含む場合があります。

(参 考)

探究 (課題研究) × 知財の教材について



本コンテンツは、INPIT(独立行政法人工業所有権情報・研修館)により、知財学習の導入及び定着を支援することを目的として作成されたものです。6つのコンテンツ(次頁参照)により構成されています。

「総合的な探究の時間」や「課題研究」のガイダンス授業のなかで、探究をSTEP UP させる「知財」の考え方に触れることで、探究学習をさらに深化させながら、知財学習の導入を図る教材コンテンツのパッケージです。

授業1コマ(50分間)で、探究の4ステップに沿って「探究の基本」に触れるなかで、各シーンに関わる「知的財産」の考え方を学べる構成になっています。

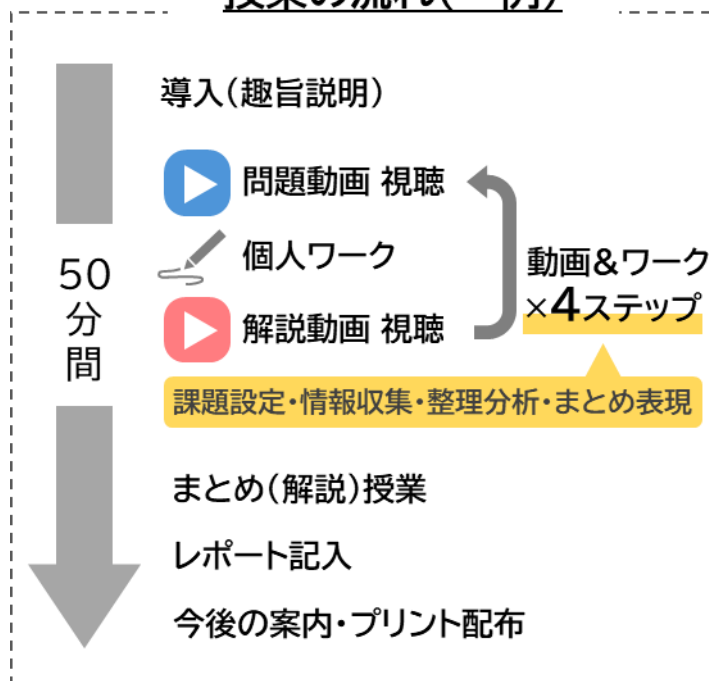
動画コンテンツの再生・教材資料の
ダウンロードはこちらから



<授業のアレンジが可能です！>

授業1コマでのガイダンスとするもよし、授業の進捗に合わせたSTEP by STEP で、探究の4ステップごとに分けて活用するもよし。

授業の流れ(一例)



授業アレンジ例

Day1: 課題設定

- 問題動画 視聴
- 個人ワーク
- 解説動画 視聴

Day2: 情報収集

- 問題動画 視聴
- 個人ワーク
- 解説動画 視聴

Day3: 整理分析

⋮

Day4: まとめ・表現

⋮

(参 考)

探究（課題研究）× 知財の教材について

① 動画コンテンツ

探究学習の4つのプロセス①課題設定、②情報収集、③整理・分析、④まとめ・表現 に対応しており、プロセス(=ステップ)ごとに「問題提起となる動画」と、「解説動画」がセットになっています(4ステップ×各2本=計8本)。

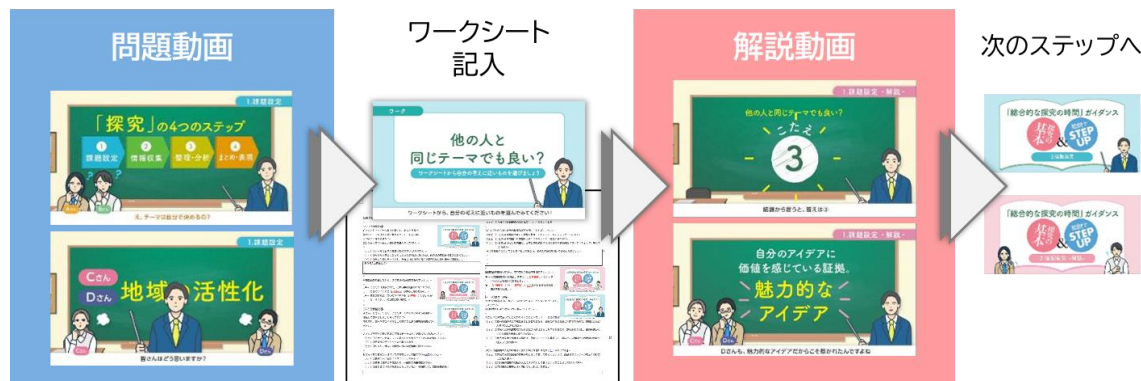
動画全体は、先生と生徒4名が探究学習に初めて取り組む一連のストーリー形式で描かれており、順に視聴することで、探究学習の進め方や全体の流れを自然に理解できる構成となっています。

また、各ステップで起こりがちなトラブルや注意点を具体的に取上げながら解説するとともに、探究学習をより深めるために役立つ知的財産の基本的な考え方や知識についても学べる内容となっています。

② ワークシート

生徒が動画を視聴してワークを行うためのシートです。(A3サイズ裏表)

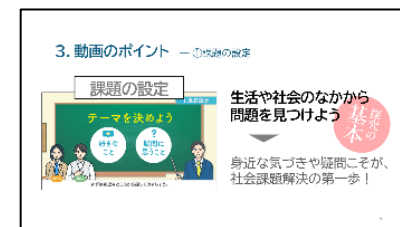
4ステップごとに、問題提起動画を視聴して回答する選択問題と、解説動画を視聴しながら回答する穴埋め問題があります。



③ 解説授業用スライド

①の動画コンテンツを視聴後、内容を振り返って解説するための投影用スライド資料です。

また、PowerPointデータで作成しているため、ノート欄をご覧くださいと、各スライドに対応した解説原稿をご覧くださいいただけます。



④ プリント「困ったときのお役立ちシート」

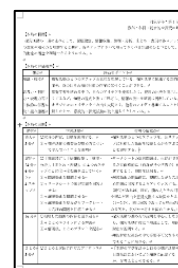
授業の最後に生徒に配布するプリントです。

今後の探究活動をより深めるためのリンク集、チェックリストを掲載しています。

④ プリント



⑤ 指導案



⑤ 指導案

本コンテンツを使った1コマの授業を行うための指導案です。

⑥ 指導者用手引書

この教材を使った授業を行うための指導者用の手元資料です。動画のシナリオや、ワークのポイント解説用のメモ、参考サイトへのリンク等が収録されています。

